



脱炭素化社会における学校建築 環境性能向上をどう図っていくのか

日程 2023年2月14(火) 18:00-20:30

会場 東京工業大学 緑が丘ホール(東京都目黒区、大岡山駅または緑が丘駅) + オンライン

世界的な環境問題への意識の高まりの中、建築分野においても脱炭素化やZEB化推進等が強力に推し進められるようになりました。地域の拠点である公立小中学校から大学キャンパスまで、施設数の多い学校建築の環境性能向上は必須条件といえるでしょう。本シンポジウムでは、これからの脱炭素化社会を見据えた国の施策、環境工学的な可能性と課題、スーパーエコスクールの公立学校における計画プロセスと運用の実態、これからの学校施設の相対的な評価手法の考え方等を題材に、学校建築の環境性能向上についてディスカッションします。

プログラム

司会：小泉 雅生(東京工業大学特定教授/東京都立大学教授/小泉アトリエ)

■開会の挨拶：高田 潤一(東京工業大学 環境・社会理工学院長・教授)

■話題提供：

1. 公立学校や国立大学が目指す脱炭素化社会における施設・キャンパスづくりの方向性：文部科学省施策を中心に
笠原 隆(文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部長)
2. 学校建築の環境性能向上と環境教育：これまでとこれから
伊香賀 俊治(慶應義塾大学理工学部教授)
3. 生徒が楽しみながら省エネ実践する“瑞浪北モデル”：計画から運用のプロセス
小谷 陽次郎(株式会社日建設計ダイレクターアーキテクト)
4. 「Arc」という世界共通のモノサシによる空間の更新と教育的意味：学ぶ場を相対的かつ動的に評価する
平松 宏城(株式会社ヴォンエルフ/Arc Japan代表取締役)

■ディスカッション：

コメンテーター：上野 武(東京工業大学特定教授/千葉大学名誉教授/上野藤井建築研究所)

加茂 紀和子(東京工業大学特定教授/名古屋工業大学教授/みかんぐみ)

■閉会の挨拶：大佛 俊泰(東京工業大学 教育施設環境研究センター長・教授)

申込方法

本年度は対面(会場の人数制限あり)・オンライン併用となります。

下記のGoogleフォームよりお申し込みください。(※切 2/6)

<https://forms.gle/nqukjL39A3DRWSN89>

※オンライン参加方法の情報は2/10までにお知らせする予定です。

問い合わせ

メールでの申込をご希望の方は下記にご連絡ください。

東京工業大学 教育施設環境研究センター

<https://www.rcef.gh4.titech.ac.jp/center/>

東京都目黒区大岡山2-12-1-M1-25 大佛研究室 岡(事務)

TEL:03-5734-3162 Email:oka.k.ah@m.titech.ac.jp

会場地図



申込用Googleフォーム

